関大
新年を迎えて
発行所 関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集兼発行人 長柄 金吾
電話堀川（35）代表2072番
振替口座大阪55594番

カメラと8ミリ
アヤ文化店
梅田新道 電(34)三〇九七

学長の任を新しい氣持で

学長　岩崎卯一

岩崎学長

図らずも三たび選ばれて学長に就任したのであるが、私は今度初めて学長になったつもりで新しい気持でスタートしたい。

昨年大学から派遣されて欧米の諸大学を視察見学したが教えられるところが多かった。年頭の所感として先ず第一にわが関西大学の興隆は、日本自体の興隆のあらわれで、日本民族、日本国家の象徴であると見なければならんと云うことです。だから関西大学を日本国家、国民の目から見るべきで、今後大学の場を通じて日本民族の勃興に貢献し得ると云うところに重点をおきたい。

第二は日本の勃興と云うと主として経済的発展を指すのであるが、文化の向上に寄与せねばならんと考える。だから不生産的な軍備などは最少限度にとどめて、余力を産業教育や生産的方面にふりむけて文化の向上に貢献することを心がけねばならん。その意味でわが関西大学はその有力な一機関であると思う。

第三に国家でも社会でもその構成する中堅層の巾が広く、比重が重きをなしているのが健全な国家であり、健全な社会である。だから関西大学は少数の一流秀才を育成すると云うことを目標とするより、できるだけ多数の中堅人士を世に送りたい。そのためには学生は、多い方が望ましい。そして社会のあらゆる方面に中堅階級を構成する卒業生を多数送って、国家社会のために貢献したいと念願するものである。

大学も健康と若さを

理事長　白川朋吉

一昨年創立七十周年を迎えたわが関西大学は、まことに健全に発展しつつあることを皆さんと共にえていたことは争えないであろうお喜びしたい。私も本年八十五才を迎えたのでありますが、幸にして健康に恵まれ、毎月何回か開かれる理事会には必ず出席して大学の諸般の行政を見るのを楽しみにしています。今年の正月にも郷里阪香川県人会長として挨拶をしたのでした。全国の弁護士会でも登録では現存者では六位でありますが、その健康な点では第一位であるとよくその任ではありません。岩崎学長を皆さんの御協力を得て基礎が任されました。新春早々役員会の高松に帰りましたが、放送局がありますか。と云われることがあります。帽子を冠ったところか、脱いでいるところかと聞くと、勿論康が最も大事だ。と云うことを大切気持はもっと若くて、また三十五六と云うところです。

白川理事長

大学もこれから大いに内容充実して生成発展しなければならないそのためには若さが必要だ。健康が必要だ。六万校友の皆さんの健康を祈念し、大学の限りなき発展を祝福するものであります。

三位一体の成果を

教授・理事・評議員　評議員会議長　阿部甚吉

阿部議長

口に、日支親善を唱えつつ、侵略戦争を展開して、遂に収拾すべからざる事態に立至らしめたのは、軍の責任である事はいうまでもないところであるが、国民一般にも中華民国乃至中国人を軽侮する思想があり中国組みし易しと考負わせられたのでありますが、もとよりとよりその任ではありません。

私は昭和三十年二月、中国を訪問し新国家建設の事業が着々進行しつつあるのを、目のあたりにし、又政府の要人としばしば懇談する機会を得たが、ある席上次のような挨拶をした。

私たちは、貴国を長い歴史とその文化的遺産を除いては、多く信頼に価せずと教えられてきた。おもえ、尊敬と信頼との基礎が調なくして其の友好関係が生ずる訳がない。私たちは、貴国が新発足後数年にして、農地制度並に農民税の改革、婚姻法の制定、少数民族のための教育制度の創設等困難な事業をなし遂げたのに対し深く敬意を表する。相互の尊敬と信頼の下、真の友好関係が結ばれるのを祈ってやまない。

之が関西大学に於ては、白川、久井ラインの理事が再選され学長が三選されたが、岩崎学長多年の主張である関大大家族主義を口頭禅に終らしめてはならない。大学は教授団を表看板とし陰の力として理事会、評議員会が学経営の責任の一端を担うものである。教授会と理事会と評議員会とが互にその叡智と良識とに信頼しその主張を善意をもって理解する事によってのみ、三位一体の実を挙げ得るのである。かくして、関大大家族主義の理想を達成し、学生と校友との附託に応えねばならない。

大月会長

財政確立と會館の建設

校友会長　大月伸

校友会当面の問題は何としても財政的確立と会館問題だ。会費収入が八十万円と云う様なことでは所期する事業の実施は程遠いものがある。どうしても旧来の会員が学の発展に相形影して自覚ある校友で形成する強力な大学の協力団体でありたい。

大学も近年急速に発展充実して来た。その背景をなす校友会も大学の発展に相形影して自覚ある校友で形成する強力な大学の協力団体でありたい。

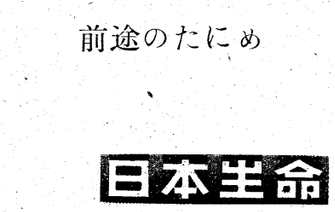
そのためには支部、職域会、同期会等の積極的な協力に俟たなければなりません。多年懸案の会館問題もこの際構想を新にして衆知を集め、立地条件のよい処を求めて賛成し的収益事業など考慮してはどうかと思っている。もとより校友会独自で無理であれば大学に協力を求めてともかく会館実現の基礎をつけたい。

2、前回の総選挙当時は、鳩山総理であったが、現在は石橋総理である。たとえ総理大臣の変迭は自民党総裁の交迭に伴う必然的現象としても、誰が総理大臣になるかは重大な事であるから総理大臣が代ったことについては、改めて国民に承認を求めるべきである。

3、最も重要な点は、国際的にも国内的にも情勢が変った事である。日ソの国交開かれず、国連に加盟していなかった一年前と今日の外交は、当然変るべきではないか。更に変るとしたら如何に変るべきかである。今日の如く生産力の上昇しつゝある時には、もっと国民の内の陽の当らぬ層に手当すべきではないか等々の問題は、新しく国民ときいて見るべき問題なのである。政党は各々自己の政策を正しいと思っているであろう。その信念は結構であるが、しかしデモクラシーの基盤は「国民の意思」である。従って政党の信念は、少くともその基本的大綱については、国民の批判と承認を受けなければ、国家としての権威を持ち得ないのである。

政党の手で学園を『緑』に

記念植樹特志寄附（2）



前途のために

日本生命

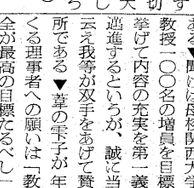
大丸久野
取締役社長 中山幸市

株式会社 片野洋服店
大臣賞に輝く最高位の技術
大阪市東区北濱三丁目三九
電話北濱(29)代表〇五六五番 〇五六六番 〇五六七番
大阪有名大店盟加

葦の雫

「東天紅」となくという鶏鳴に明けた「とりの年」の新年である。いかにも明朗であり何となく希望を感じ、躍動を覚えるのはひとり筆者のみではあるまい。こうした機会にこそお互いの胸中に偉大な抱負を刻み込むことが肝要である▼きざむといえば「サルス・ポブリ・スブレマ・レックス・エスト」▼十二枚の銅板に法律を彫ってローマの政庁に掲げたのがローマ成文律の起原であるが、いかなる箇条の法律も、国家の利益、すなわち国民全体の幸福のためには譲歩すべきだというのが、法律の原則 Maxim であるとローマ人は考えた▼「人民の安寧が最高の法たるべし」こうした考えから、ローマでは、紀元前三世紀頃には二階級―貴族、平民―の完全な平等を見ることが出来 Concordia（和合）の女神の神殿を建てた。このコンコルディアがローマの隆盛を致したわけである▼わが国では、聖徳太子が摂政として十七ケ条の憲法を制定し、その第一条に「和を以て貴しとなす」と記されたのであるが、これは実に深い意義を持つものである▼わが民族の優秀性については、敢えて自賛を要しないが、太子のように立派な哲学を以て政治を行い、宗教、信仰を指導し、社会事業を行われたのは、何といっても特筆大書して景仰すべき民族の誇りである▼さて真理は君たちを解放する（Die Wahrheit wird euch frei machen!）という言葉があるが、本年の世界は、ひとつ真理の探究に終始するよう望んでやまない。折はよし "南極探検" が行われ、"人工衛星" に関する研究が人気を集め、"原子力" はデスクワークの域を脱して、"くる" 時期である。単に前回の総選挙から二年経過したというだけでなく、その当時と今日とは、いろいろの意味で事情が変っているからである。

1、前回の総選挙の時には、社会党の努力の結晶である。而も此の好況の中にあって、看過出来ない重要な問題が表面化して来た。即ち日本の巨大資本が益々強化されたが、反面中小企業には、今尚四苦八苦の者が沢山ある。農業の立場も次第に悪化している。換言すれば、我が国経済の「理想的発展」（経済白書）は、中小企業と農業の犠牲の上に発展しているのである。その結果「国民生活の上下の開きが次第に拡大しつゝある」（厚生白書）ことは、政府自体が認める通りである。全体として日本の生産力が幾ら上昇したとかいうことは、国民の一人一人の生活にどのようにプラスしたかが問題なのである。これらの問題は、経済政策としての中小企業問題、農業問題である。


亀田氏

ばかりでなく、広汎な社会保障問題として解決を迫られているのである。此の問題を本当に解決する為には、どうしても従来の巨大資本を優遇する政策を思い切って修正しなければ不可能であろう。

よってもたらされたものではなく国民の好況の中にあって、看過出来ない重要な問題が表面化して来た。即ち日本の巨大資本が益々強化されたが、反面中小企業には、今尚四苦八苦の者が沢山ある。農業の立場も次第に悪化している。換言すれば、我が国経済の「理想的発展」（経済白書）は、中小企業と農業の犠牲の上に発展しているのである。その結果「国民生活の上下の開きが次第に拡大しつゝある」（厚生白書）ことは、政府自体が認める通りである。全体として日本の生産力が幾ら上昇したとかいうことは、国民の一人一人の生活にどのようにプラスしたかが問題なのである。これらの問題は、経済政策としての中小企業問題、農業問題である。

新春政局の展望

参議院議員　龜田得治

取組まねばならないのである。日ソ間の懸案問題、日中の国交回復問題、沖縄問題、アジア・アフリカ諸国との緊密化の問題、日米安保条約と行政協定の改廃の問題等々。これらは日本国民が、一日も早くその解決を望んでいるものである。しかも従来のごときアメリカ一辺倒の外交方針を以てしては、断じて解決不可能であることは、問題の性格自体から明白である。昨年末に沖縄に於て人民党書記長瀬長亀次郎氏がに那覇市長に当選したが、米当局は此の民主的選挙の結果を否定しようとした。此の一事を以てしても、日本の外交は、アメリカに対してもっと毅然たる態度が必要である。

2、国内問題に目を転じよう。日本経済は昨年に引き続き今年も好況を持続するであろうと云われるしかし此の好況は、政治を忘れて派閥争いに熱中した自民党政権に正しなければならない。

校友の手で学園を『緑』に

記念植樹特志寄附

"学園を緑に" との造園計画が発表されて以来、校友間に多大の共鳴を呼び、校友会支部、職域会同期会の申込みつゞき、前号に寄附者芳名を発表したが、その後の申込みは左の通りである。

〃〃〃〃

申込者芳名

▽大阪市役所支部（一万三千円）ヒマラヤ杉一本
▽北浜関大クラブ（三千五百円也）山桜七本
▽尼崎支部（三千円也）銀杏一本
▽山陽電鉄関大会（二千円）山桜四本
▽福島支部（二千円）山桜四本
▽楠（高さ十尺、巾十尺、太さ目通一尺）一〇、〇〇〇円
▽銀杏（高さ七尺、巾三尺、太さ四寸）三、〇〇〇円
▽南豆ハゼ樹（高さ八尺、巾五尺、太さ六寸）六、〇〇〇円
▽山桜（高さ七尺、巾三尺、太さ三寸）五〇〇円
▽ユーカリ（高さ八尺、巾三尺）一、五〇〇円
▽メタセコイア（高さ四尺～五尺）一、五〇〇円

なお植樹には寄附者の名を録して芳志を永く伝えることになっているが、御申込みは大阪市大淀区長柄中通二、関西大学校友会事務局へ。

植樹の種類並に単価

友誤、振替郵便による御送金は大阪二二八七五番

巷にあがる校友の聲

年頭早々数多くの賀状に接したが、この中に学園関係者より頂いたものが激増した事は、一般校友の母校愛の高まったことを証するもので、多くのものは母校のためによろしく頼むと書き添えてある。その中には封書のものも幾度も実地見学しました。入学した学費下が評議員として絶対に発言して頂き度い事項を提案します。

一、教授陣の充実、一、理工学部設置校舎の建設はますます理想に近くなりました。と云っても同志社、関学、立命より優っているとは思えません。

…将来の母校は安易の夢を結んで居てはならない。後輩の幸福と誇りのある学園を造ることが課せられた先輩の途

…中略…

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

壇論

大学の歴史と名譽教授

国日新聞、雑誌その他の紙上に散見する学術関係記事中において心温るものを感ずるものに、曰く母校愛、曰く師弟愛、曰く名誉教授などがある。この中にあって特に気品高く床しさを覚ゆるものは名誉教授と云う表現である。駅弁式に新らしく簇生した戦後大学が此の敬称を用いても何となく板に付かない不自然なものがあるが、七十年八十年、百年の伝統を持つ大学における名誉教授は、実に崇高さを感じ学徳の深さを覚え、貴献の度を忍び、余生豊かな心境を羨い、多くの門下生の集団が察知されて、誠に気高くもうるおしいものである。

すでに七十年の伝統を持ち、その式典も終って、学園の誇りも広く内外に宣揚され、停年制と恩給年金制まで実あって、一つにこんなのがある…「

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

獄富壮豪　筆伯画介俊龍

日本の経済

鐘紡社長　武藤糸治

武藤氏

「国家は組織だ、と私が云うと「そんな馬鹿な」と云う人もあるかも知れない。だが、経済を一つの組織だといった場合「そうだね」と大抵の人は肯くだろう。ところで今日国家から経済を引いて何が残るだろうか。政治家のための国家というような国民を犠牲にする国家が、歴史上になかったというのではない。しかし、今日の政治は民衆のための政治ではなかろうか。民衆の生活を支え伸ばすために経済組織を合理化し、うまくコントロールしてゆくというのが今日の政治目的の大きい部分ではなかろうか。

政治が経済関係を主要目的とする通しての成長は終った。今後の成長は近代化で支えられ、それも安定した成長によってはじめて可能となるという意味のことが書いてある。

この部分は経済白書の優れた部分だと思うが、こういうことが本当に実現するならば、私は日本経済のために、また日本の国民生活のためにも祝福する。そしてそれが単なる企画庁の作文に終らないことを念願する。

私は経済白書そのものを読んでいない。新聞を通してその要旨を吸収したに過ぎないが、読んだ後の感じは、小説を読んだ後の感じと大して違わなかった。その分析は、彼らは日本の国民生活を奪篇は、数字や事柄に矛盾が多くて実際とは離れているように思える某新聞の婦人記者が、我々の台所からみた経済白書は "空白書" であると批評したが、そんな感じがしないでもない。

少しレンズの向きを変える。政府も政府だが、民間も民間だと思う。経済は一つの組織体となって、その中に協力がよく行われるようになっていなくては経済自体の成長も発展も多く期待されないし、就業状態の改善も労働条件の向上も、ひいては国民の生活水準の上昇も望み得ない。しかるに労使関係を見ても、未だに斗争を事とする戦国時代である。中には眼覚めて来た労組もないではないが、経済の如きは生産性向上運動に反対だとはっきり発表して

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

…「幾度も実地見学しました。入学した学園の高松に帰りましたが、放送局があってひとこと新年の特別放送をと云われましたので、マイクを通じて、あらゆる事業に貢献するのには健康が最も大事だ。と云うことを大切に

〝関大〟再出發の年

首脳部の陣容は整った

大正末期に福島から千里山の地に総合大学建設の足跡を印したときを関大の〝明治維新〟とすれば今は正に〝建武の中興〟の時代ともいえよう。例えの年代は余く逆だが、こゝ数年の目ざましい学園の発展ぶりを眺めていると何か〝中興〟という言葉がぴったりと当てはまるような感じがする。日本も神武天皇以来の好景気、関大もこのところ学内に建設の槌音が絶えた事がない。まずはめでたい限りである。

ところで創立七十周年記念を目標とした第一次五ケ年計画が一まず終り、三十一年度は関大躍進の休止の時期であった。しかし九月には学校経営の母体である評議員選挙が行われ、理事の改選があった。そして十一月は学長選挙で岩崎教授が関大始って以来の三選の栄を獲得、こゝに第二次五ケ年計画を推進するプレーンは全部出揃ったわけである。さあお膳立てはできた。三十二年度は再び関大がたくましい前進をみせることだろう。広報部では新しい年を迎えるにあたり、広報部員による座談会を開き関大こゝ数年来の歩みと、現在直面している問題点に焦点を合わせてみた。名づけて〝新春放談〟。

難航した学長選挙

解せぬ木村教授の固辞

G　昨年の評議員選挙はすでにたびたび批判されたから、きょうは岩崎学長三選問題から始めよう。

B　岩崎教授が三度び学長に選ばれていきさつをみるとどうもすっきりしないね。

D　最初、岩崎、木村、矢口井上、植田、中谷等の教授が候補にあがり教授会で投票が行われたが、過半数を獲得するものがなく岩崎、木村両教授の決戦投票の結果、木村教授が当選したが、結局木村氏は健康と一身上の都合で辞退した。

B　こゝに問題がある。木村教授は前回も当選しながら就任を固辞している。二回も辞退するのはなぜか。健康上の理由というのはおかしい。何か木村教授が学長になりたくない原因がどこかに秘んでいるような気がしてならない。

C　学長になって行政面にタッチするのが不安だったのではないか。

E　だがそうでなくてもし教授会に他校出身の教授をボツコイトし、重要なポストを与えたくないというような雰囲気があるとしたらこれは問題だな。

G　木村教授は関大のモンロー主義のような空気を感じて、学長になっても学者として理事会、教授会に信頼を置いた仕事ができ適用したのだろう。

B　大体学長選挙は校法人出身者の手で〟という意向が強かった。巧くいけばいゝのだが、悪い。

B　関西大学職員の任免規程第一条で『学長は、理事会が教授会の意見を聞いて、これを任命する』といければ学問がはびこって学問やそのほかの自由を失う恐れがある。

C　あの条項を拡大解釈しているのが文学部だろう。

F　いやいまの教授会には学閥より部閥がある。一番まとまっているのが文学部だろう。

G　昔から関大には〝関大はこんどの選挙に井上教授（文学部）が立候補したのは岩崎教授に対するけん制だという。事実だとすれば岩崎氏に対するかなりの抵抗が感じられるね。

E　学長を三選ともなればいろいろな問題が起ってくるさ。留学生だし、戦後に学長になってからは関大ルネッサンスを呼び、荒れ果てた関大を再建した功績は大きい。この苦労を無視してはならないが、その反面批判される面も多い。

C　それについて面白い話がある。大体こんどの選挙に井上教授（文学部）が立候補したのは岩崎教授に対するけん制だというんだ。事実だとすれば岩崎氏に対するかなりの抵抗が感じられるね。

E　学長を三選ともなればいろいろな問題が起ってくるさ。留学生だし、戦後に学長になってからは関大ルネッサンスを呼び、荒れ果てた関大を再建した功績は大きい。この苦労を無視してはならないが、その反面批判される面も多い。

捗らぬ教授の増強

評議員会で学事委員会設置か

A　もっと教授の問題をとりあげていこうではないか。

C　久井専務理事は前から『教授の百名増員』をうたっているが、果して百名もかんたんに増せるだろうか。

F　これはあくまで理想だって、まず実現は不可能だろう。

G　とにかく関大は教授の数が少な過ぎるよ。慶応、早大の五百名クラスは例外としても、同大が百七十名、関学が百四十名、関大は百名に満たない。

D　関大には学者を育てようとする一貫した政策が昔からなかったから、いゝ教授が居着かなかったのだ。

B　戦前の無策がたゝっているね。

F　これではいけないというけである。或る時私は友人と二人で先生の教室へ講演の依頼に行った。私共が依頼の件を申し述べると先生は笑顔を両手で撫でよを見をし乍ら、然しニコニコし乍ら、聞いていたが返事を一向する様子がない私達はすっかり当惑した。黙って先生の顔を見ているのも辛かったが云うだけのことは云ってしまったのでもう云うことは無い。暫くすると先生はニヤリとした。然しそれっきりである。又時間が過ぎた。私は諦めねばならぬと思い失礼しようと友人を促した。その時先生は聞き取れない程の低い声でつぶやいた。「行ってあげたいが日本の法医学は私と一緒に一進一退しているんでね、私が一日遊べば一日だけ日本の法医学が遅れることになる。」何と云う強い自信だろう。私はその後の生涯に於てもこれほど強い自信に満ちた言葉を聞いたことがない」と。今の世の中には、片山先生のような強い信念と高い矜持とを身につけた教授が一人でもいるだろうか。どうも昔の教授達と競べてうすべらになったような気がしてならない、さてわが関大の教授陣は一応一流所の教授達が揃っていて潤い。学生数に比し教授数も今少し不足していて招へイせねばならないが、数を補充するの余り価値のない急造の教授ではいけない。急ぐず焦らずこれ丈はよく心得るべき事だろう。（筆者は昭九大法卒・医博・本学評議員）

D　やはり受入れる教授会のあり方に問題があるのではないか。

A　例えば著名人を招こうとしても若手の教授は「君それは過去の人だよ」とはねつける場合が多いという話がある。

G　こゝでもやはりよき者はよせつけぬという狭い気持があるのかも知れはいね。

F　それに今はどこも教授が不足しているからおいそれと離さないよ。

C　とにかく今の状態では掛声ばかりであまり実をともなっていない。

D　これではいけないというので評議員会では数年前から教授招へいにはかなり多くの予算をとってきている。ところがその三割も使いこなしていないのだ。現在の関大の教授の待遇は決して悪くないのだから、経済的な条件で折合わない筈がないと思うのだが。

A　三十二年度から第二次五ケ年計画に入るといわれているが大体のところを探ってみよう。

B　第二次五ケ年計画というのはまだ確定していないのだ。果して五ケ年を区切りとする計画がいゝか悪いかは大いに議論の余地があるが。

D　五ケ年にこだわることはないね。

E　第二次五ケ年計画で施設は見違えるほどよくなったが、まだまだこれからだよ。千里山の大体育館、学生会館の建設、一中の千里山移転、小学校の新設、理工科学部の新設と数えていけばきりがない。

G　三十二会計年度を終るころには大体一億四千万円ぐらいの負債となるらしいが、校運隆盛の上げ潮に乗っている今の時期に残りの計画も一挙に完成さすべきだね。

＝第二次五ケ年計画＝ 理事会はもつと強氣で

だが計画は慎重に

G　昨年はコロンビア大学とを関大にもたらすと思うが……。

B　もちろん趣旨には賛成だが、現在の関大はもっと内容充実に力を注ぐべきだろう。

A　こういう話が出たということは関大にとって一つの自慢の種だろうが、現状では時期尚早といったところか。

C　折角のチャンスなのだがね……。

A　施設の問題も大事だが学生に対する学校当局のサービスぶりにかなり学生から文句が出ている。たとえば毎年二回の学期試験に対する要望書をもたなければウソだ。

実務教育が肝要

A　ところで戦後の卒業生は実力がないと酷評されているが。

B　そういうことは云えるだろう。だがもっとも大事なことは学校当局がもっと職能教育に力を入れるべきだということだ。文科系の学生は理論を知っていてもいざ職業につくと技術がないものだから何もできない。これでは困る。

C　関大は庶民の大学を標榜しているのだからね。

B　そこで職業実践教育を行う一つの新しい行き方だろう。

F　大学と社会の結びつきで思うのだが、今後短大がなくなり一中が千里山に移ると天六学舎の建物はガラ空きとなる。こゝを社会人の学生が一つ身につけておいて欲しい。

D　この老大な第二次五ケ年計画を遂行するためには財政的にも色々苦労があると思うが、一つの財源として入学志願者の数を増やすのも一つの手だろう。せめて一万名程度の志願者は集めないと。

B　私は第二次五ケ年計画というものは大幅に修正されていくとみている。銀行側から申し入れがあれば、あるいは十年長期計画という線が打ち出されるかも知れない。

G　その場合にどれだけ一貫した施策を打ち出せるかむつかしいところだ。

C　五ケ年計画でも十ケ年計画でもいい、とにかく理事会は早急に具体策を打ち出して欲しいものだ。

C　理事者の一部には今の理事会があまり発展し過ぎるとの警戒する向きもあるようだが、一流の大学完成を目指すなら、そんな消極的な意見はどうかしているよ。

E、まだ関西法律学校時代のセンスが抜け切らないんだろう。

F　戦前の理事の中には施設らしい施設も整えず、教授を育て作り、養成などを習わせて、小さい政だけを誇りにする人が多かった。

C　意味からもぜひ小学校を設置せよと叫びたい。いゝ環境、いゝ先生を揃えれば必ず素質のいゝ生徒が集まる。そうしてできれば全部寮に入れて午前中は授業、午後は畑

F　長期計画は結構だが計画性の点で私は現在のやり方に不満をもっている。例えば施設の面だが、これからもあの自然美に包まれた千里山の学園に建物がぞくぞく増えていくことだろうが、もっと環境とマッチした建物、ムダのない施設計画というものを立てて欲しい。たとえば第二学舎の増築部分だが、本館は白タイル張りなのに、増築部分は白色セメントの吹付なんだ。だから全体の調和が取れていない。第三学舎もそうだ。あれだけの建物だが、場所が悪いため第二学舎との配置状態が不安定なのだ。しかも第三学舎の前にある体育館は邪魔になって移転させねばならない。先を見越した計画がないからこのようなムダが起きるのだ。やがて大学院も第一学舎の前から姿を消すという。いずれも学校施設の計画をしっかり作、青写真の上でこゝに道路が通ってはいない。何年後はあそこに何の建物が外苑から大学へ自動車道路を通すといっているが、都市計画と同じことで、まず幹線道路を先に造ってしまうことだな。

B　外苑に教育会館がひょっこりできたが、あれも計画性のあるものだろうか。これからは外苑にも建物が増える一方とすればよく建造物の配置を考えて欲しい。

D　惜しくてならないのは第一学舎の所にあった威徳館を売払ってしまったことだ。豪壮な第一学舎の人身供養となったのだからお役目は十分果しているともいえるが、何といっても由緒ある建物だから外苑にでも記念館としてぜひ保存してほしかった。

F　慶応には慶応のスタイル早大には早大の風格が校舎にもにじみ出ている。関大もぜひ七十年の歴史のにおいが感じられる施設を整えるよう考慮してもらいたい。

E　折角日本でも屈指の優れた施設をつくろうというのだから

C　いろいろ不満もあるだろうが、あの千里山の自然美だけは誇るべき存在だね。

E　施設拡充委員会の洗練さ れたしかも計画性のある手腕を期待しておこう。

配置の惡い第三学舎

認識を欠く歴史的建物の保存

竣成近い第三学舎

A　今日は随分と暗い面を取りあげたが、こんなに明るい面を探してみたい。

B　私は現在の関大のやり方に悲観的だ。何か一本筋金が通っていない。

C　いやそんなことはないよ。関大七十年の歴史で今日ほど充実した時代はなかったと思うね。しかも前途は洋々としているのだ。

D　いろいろ問題はあるが、

F　これはいわば生みの苦しみだ。過去五年でこれだけの業績をあげてきているではないか。

E　同感だな。五年前の関大と今の関大ではすでに大へんな違いができている。今の隆盛のペースを今後さらに十年もつゞけるとすれば日本でも一流の大学となるのは間違いなしだ。

F　それには理事も教授も学生も、さらに校友もみんなが現在の関大が直面している問題を直視し、賢明な打開策をたてることだ。

G　今までの五年間は馬耳馬のように進んできた。その結果すばらしい発展をとげたが、この躍進についていけなかった部門も学内にいくつか残っている。これをどのように調整して再スターを切るかということだ。狭い量見をすて、世界の大学、日本の大学を目ざして努力をつゞけなければ。

A　今までの関大は学内にじめじめした空気が多かったが、今では非常に明るくなった。理事会を排して、実際的な意見を実に多く出している。いわば学校全体が生き生きと動いているのだ。動くところに停滞はない。これは喜ぶべき現象だね。

大學は前進する

十年後の姿が楽しみ

A　今日は随分と暗い面を取りあげたが、こんなに明るい面を探してみたい。

B　私は現在の関大のやり方に悲観的だ。何か一本筋金が通っていない。

C　いやそんなことはないよ。関大七十年の歴史で今日ほど充実した時代はなかったと思うね。しかも前途は洋々としているのだ。

D　いろいろ問題はあるが、

F　長期計画は結構だが計画性の点で私は現在のやり方に不満をもっている。例えば施設の面だが、これからもあの自然美に包まれた千里山の学園に建物がぞくぞく増えていくことだろうが、もっと環境とマッチした建物、ムダのない施設計画というものを立てて欲しい。たとえば第二学舎の増築部分だが、本館は白タイル張りなのに、増築部分は白色セメントの吹付なんだ。だから全体の調和が取れていない。第三学舎もそうだ。あれだけの建物だが、場所が悪いため第二学舎との配置状態が不安定なのだ。しかも第三学舎の前にある体育館は邪魔になって移転させねばならない。先を見越した計画がないからこのようなムダが起きるのだ。やがて大学院も第一学舎の前から姿を消すという。いずれも学校施設の計画をしっかり作、青写真の上でこゝに道路が通ってはいない。何年後はあそこに何の建物が外苑から大学へ自動車道路を通すといっているが、都市計画と同じことで、まず幹線道路を先に造ってしまうことだな。

B　外苑に教育会館がひょっこりできたが、あれも計画性のあるものだろうか。これからは外苑にも建物が増える一方とすればよく建造物の配置を考えて欲しい。

D　惜しくてならないのは第一学舎の所にあった威徳館を売払ってしまったことだ。豪壮な第一学舎の人身供養となったのだからお役目は十分果しているともいえるが、何といっても由緒ある建物だから外苑にでも記念館としてぜひ保存してほしかった。

F　慶応には慶応のスタイル早大には早大の風格が校舎にもにじみ出ている。関大もぜひ七十年の歴史のにおいが感じられる施設を整えるよう考慮してもらいたい。

E　折角日本でも屈指の優れた施設をつくろうというのだから

C　いろいろ不満もあるだろうが、あの千里山の自然美だけは誇るべき存在だね。

E　施設拡充委員会の洗練さ れたしかも計画性のある手腕を期待しておこう。

大學教授

江里口春志

大正末期に福島から千里山の地に総合大学建設の足跡を印したときを関大の〝明治維新〟とすれば今は正に〝建武の中興〟の時代ともいえよう。例えの年代は余く逆だが、こゝ数年の目ざましい学園の発展ぶりを眺めていると何か〝中興〟という言葉がぴったりと当てはまるような感じがする。日本も神武天皇以来の好景気、関大もこのところ学内に建設の槌音が絶えた事がない。まずはめでたい限りである。

ところで創立七十周年記念を目標とした第一次五ケ年計画が一まず終り、三十一年度は関大躍進の休止の時期であった。しかし九月には学校経営の母体である評議員選挙が行われ、理事の改選があった。そして十一月は学長選挙で岩崎教授が関大始って以来の三選の栄を獲得、こゝに第二次五ケ年計画を推進するプレーンは全部出揃ったわけである。さあお膳立てはできた。三十二年度は再び関大がたくましい前進をみせることだろう。広報部では新しい年を迎えるにあたり、広報部員による座談会を開き関大こゝ数年来の歩みと、現在直面している問題点に焦点を合わせてみた。名づけて〝新春放談〟。

さて現在の大学教授の心構えを二つに区分することが出来よう。第一は教授の天職を自覚し清貧に甘んじて生涯を学問に捧げる尊敬すべき人々である。第二は物質的待遇の悪いことを恨み、四六時中不平を鳴らし乍ら二方で内職稼ぎに憂身をやつすものである。前者は教授という職業程有難いものはなく、好きな学問で道楽みたいな研究をし、月給を頂戴しつゝさせて貰えるのはこんな仕合せなことはないと、サラリーなど念頭に置かず感謝の意を洩している。これに反して後者に属する教授達は家族すら満足に養えぬような虐待振りは怪しからぬと頭りに憤慨する。そして講義の切売りはまだしも新聞雑誌に原稿を売ったり、ラジオ、テレビに出演したり、凡ゆる方法を講じひたすら収入の増加を計っている。後者のようなのは特に文科系統に於て少くないように思はれる。最近本多顕彰という法政大学の教授が「大学教授」と題する一書を上梓して物議を醸している。云うまでもなく大学の内面を暴露してあ余す所がないからである。自分もその評判を耳にして早速同書を通読してみた。本多氏自身の筆に依れば「知識人の最高の座にいる大学教授……自他共にそう思い込んでいるのが大学教授です。『果して看板に偽りはないでしょうか、私は自分自身が大学教授で、今の大学教授が世評に胡座をかいているその姿が何うも可笑しくて恥しくて仕方がないのです。大学といえば、曾ては象牙の塔の名で呼ばれ、静かな研究室、学問の魅力。ひたむきな探究、そのような伝説が行われて来ました。然し今日の大学は残念乍らそんな世界とは似ても似つかぬものです。そこにはもっと陰にこもった生存競争、女性的な各種が跳梁跋扈して います。地位を争う学内騒動、研究や講義の舞台裏、食えない月給、原稿書き、講演料稼ぎなどその姿はさながら知識人の地獄図絵です」。と記している。この文句から想像されるように同書は国立、私立を問わず大学のカラクリを明らかに曝け出している。

尚次の次の頁には「私の見た偉そうな先生は東大法医学の主任教授片山先生である。実は私は法医学なる学問が何を研究するものかを知らないから先生の学識を判断する資格は毛頭無いのであって、私に判断出来るのは外観だけである。或る時私は友人と二人で先生の教室へ講演の依頼に行った。私共が依頼の件を申し述べると先生は笑顔を両手で撫でよを見をし乍ら、然しニコニコし乍ら、聞いていたが返事を一向する様子がない私達はすっかり当惑した。黙って先生の顔を見ているのも辛かったが云うだけのことは云ってしまったのでもう云うことは無い。暫くすると先生はニヤリとした。然しそれっきりである。又時間が過ぎた。私は諦めねばならぬと思い失礼しようと友人を促した。その時先生は聞き取れない程の低い声でつぶやいた。「行ってあげたいが日本の法医学は私と一緒に一進一退しているんでね、私が一日遊べば一日だけ日本の法医学が遅れることになる。」何と云う強い自信だろう。私はその後の生涯に於てもこれほど強い自信に満ちた言葉を聞いたことがない」と。今の世の中には、片山先生のような強い信念と高い矜持とを身につけた教授が一人でもいるだろうか。どうも昔の教授達と競べてうすべらになったような気がしてならない、さてわが関大の教授陣は一応一流所の教授達が揃っていて潤い。学生数に比し教授数も今少し不足していて招へイせねばならないが、数を補充するの余り価値のない急造の教授ではいけない。急ぐず焦らずこれ丈はよく心得るべき事だろう。（筆者は昭九大法卒・医博・本学評議員）

コ大との技術提携

教授会は賛成の意向？

G　昨年はコロンビア大学とを関大にもたらすと思うが……。

B　もちろん趣旨には賛成だが、現在の関大はもっと内容充実に力を注ぐべきだろう。

A　こういう話が出たということは関大にとって一つの自慢の種だろうが、現状では時期尚早といったところか。

C　折角のチャンスなのだがね……。

A　施設の問題も大事だが学生に対する学校当局のサービスぶりにかなり学生から文句が出ている。たとえば毎年二回の学期試験に対する要望書をもたなければウソだ。

実務教育が肝要

A　ところで戦後の卒業生は実力がないと酷評されているが。

B　そういうことは云えるだろう。だがもっとも大事なことは学校当局がもっと職能教育に力を入れるべきだということだ。文科系の学生は理論を知っていてもいざ職業につくと技術がないものだから何もできない。これでは困る。

C　関大は庶民の大学を標榜しているのだからね。

B　そこで職業実践教育を行う一つの新しい行き方だろう。

F　大学と社会の結びつきで思うのだが、今後短大がなくなり一中が千里山に移ると天六学舎の建物はガラ空きとなる。こゝを社会人の学生が一つ身につけておいて欲しい。

D　この老大な第二次五ケ年計画を遂行するためには財政的にも色々苦労があると思うが、一つの財源として入学志願者の数を増やすのも一つの手だろう。せめて一万名程度の志願者は集めないと。

B　私は第二次五ケ年計画というものは大幅に修正されていくとみている。銀行側から申し入れがあれば、あるいは十年長期計画という線が打ち出されるかも知れない。

G　その場合にどれだけ一貫した施策を打ち出せるかむつかしいところだ。

C　五ケ年計画でも十ケ年計画でもいい、とにかく理事会は早急に具体策を打ち出して欲しいものだ。

C　理事者の一部には今の理事会があまり発展し過ぎるとの警戒する向きもあるようだが、一流の大学完成を目指すなら、そんな消極的な意見はどうかしているよ。

E、まだ関西法律学校時代のセンスが抜け切らないんだろう。

F　戦前の理事の中には施設らしい施設も整えず、教授を育て作り、養成などを習わせて、小さい政だけを誇りにする人が多かった。

C　意味からもぜひ小学校を設置せよと叫びたい。いゝ環境、いゝ先生を揃えれば必ず素質のいゝ生徒が集まる。そうしてできれば全部寮に入れて午前中は授業、午後は畑

F　長期計画は結構だが計画性の点で私は現在のやり方に不満をもっている。例えば施設の面だが、これからもあの自然美に包まれた千里山の学園に建物がぞくぞく増えていくことだろうが、もっと環境とマッチした建物、ムダのない施設計画というものを立てて欲しい。たとえば第二学舎の増築部分だが、本館は白タイル張りなのに、増築部分は白色セメントの吹付なんだ。だから全体の調和が取れていない。第三学舎もそうだ。あれだけの建物だが、場所が悪いため第二学舎との配置状態が不安定なのだ。しかも第三学舎の前にある体育館は邪魔になって移転させねばならない。先を見越した計画がないからこのようなムダが起きるのだ。やがて大学院も第一学舎の前から姿を消すという。いずれも学校施設の計画をしっかり作、青写真の上でこゝに道路が通ってはいない。何年後はあそこに何の建物が外苑から大学へ自動車道路を通すといっているが、都市計画と同じことで、まず幹線道路を先に造ってしまうことだな。

B　外苑に教育会館がひょっこりできたが、あれも計画性のあるものだろうか。これからは外苑にも建物が増える一方とすればよく建造物の配置を考えて欲しい。

D　惜しくてならないのは第一学舎の所にあった威徳館を売払ってしまったことだ。豪壮な第一学舎の人身供養となったのだからお役目は十分果しているともいえるが、何といっても由緒ある建物だから外苑にでも記念館としてぜひ保存してほしかった。

F　慶応には慶応のスタイル早大には早大の風格が校舎にもにじみ出ている。関大もぜひ七十年の歴史のにおいが感じられる施設を整えるよう考慮してもらいたい。

E　折角日本でも屈指の優れた施設をつくろうというのだから

C　いろいろ不満もあるだろうが、あの千里山の自然美だけは誇るべき存在だね。

E　施設拡充委員会の洗練さ れたしかも計画性のある手腕を期待しておこう。

もり上る會館建設

G　校友会館建設の声が出て館の構想を聞いてみると誰もしっかりしたものをもっていない。

F　ひどいのになると会館を単なる連絡場所ぐらいにしか考えていないな。

G　同じつくるのなら日本一の立派な会館をつくりたい。

A　できれば収益事業を行った方がいゝだろう。校友会が独立採算制でもとれゝば学校当局にも負担をかけないし、校友会の発展はひとりでに成し遂げられる。

C　とにかく計画ばかり立てないで、さっさと実行にかゝることだ。

G　だが関係者の間で校友会

昭和31年度 会費拂込者【8】

井上喜正、井上昭一郎、飯田俊三郎、飯野重則、池田靖、石井昭太郎、市辺茂治郎、市橋大吉、宇野重男、上阪卯之助、大崎富士雄、大沢憲之進、大島伸一、大野真策、大薮哮也、太田寛、小山田秀実、岡悦三、岡井盛治、片岡恒次郎、川口清、柏木詳比古、垣崎俊一、釜谷大三郎、兼田武己、木下衛、清野純平、口村正一、小島利夫、小林康男、權田泰行、佐竹幸蔵、佐藤芳男、佐野日出男、斉藤義喜寿、芝田吉信、柴谷一郎、新熊ルリ、鈴木庄太郎、鈴木登、田口誠一、田中清光、田中淳二、田中邦明、田中邦久、高木義信、谷義雄、土谷正喜代、徳山隆志、永田周三四六名）

賀正 1957年

関西大学校友会広報部

部長　三島律夫

大小島熙

門上敏夫

神屋敷民蔵

佐伯五郎

坂本幸夫

印刷より製袋まで一貫作業を誇る
平井セロファン株式会社
本社　大阪市東淀川区国次町七六五番地　電話（37）局三二六三番
営業所　大阪市北区天神橋筋三丁目五五番地　電話（35）局七〇三六番
作業場　大阪市北区末広町十七番地　電話（35）局九九三四番
印刷工場　大阪市南区瓦屋町三番丁一〇一番地　電話（75）局九一一七番
神戸出張所　神戸市生田区元町七丁目二〇番地　電話（4）局〇五六四番
岡山出張所　岡山県児島市田ノ口三五八ノ二番　電話琴浦三七四番

謹賀新年 1957年

関西大学校友会役員

関西大学学校法人役員

評議員会議長・弁護士　阿部甚吉　大阪市北区若松町三　電話㉞七六四・五一七八番

学長・法学博士　岩崎卯一　京都府乙訓郡長岡町東海印寺東谷　電話神足七八番

評議員　岩佐清三郎　京都市上京区堺ノ段桜木町四一五

理事長　白川朋吉　大阪市阿倍野区帝塚山中一丁目七五

評議員・教授　短期大学部長　河村宜介　京都府北区大将軍一条町三四　電話西陣一〇九六番

評議員　寒川喜一　大阪府人事委員会事務局長　大阪市東区大手前之町二

理事・教授　福島四郎　京都市左京区岡崎東福川町二

評議員　藤野春三　大阪市福島区亀甲町二ノ一〇二　電話㊹六七〇三番

特殊機化工業(株)・東洋エメリーフィレット(株)専務取締役　古市實　大阪市福島区海老江下三ノ二八　電話㊽三四五四～五・四〇三一

校友会常議員　前田金属工業株式会社社長　前田軍治　芦屋市船戸町八二　電話芦屋四九一三番

評議員　宮崎平　西宮市南郷町一九

評議員　村尾静明　八尾市今井三八

監事　近畿日本鉄道会社取締役会長　三好萬次　大阪府八尾市大字柏村一一五

評議員　森川文雄　吹田市千里山竹園町三　電話㊳三三〇六番

理事・教授・経済学博士　矢口孝次郎　吹田市千里山三七六　電話㊳三五八七番

評議員　森寛紹　和歌山県高野山、普賢院　電話高野一九番

校友会常議員　神港建設株式会社社長　向井裕亮　神戸市兵庫区下沢通七ノ三　電話湊川⑤七七八五番

評議員　竹沢喜代治　大阪地方裁判所判事　堺市中三国ケ丘町二ノ三四　電話堺一一六八番

評議員　戸根泰雄　森下仁丹株式会社常務取締役　西宮市甲東園二丁目一四四

理事・大同通運・神戸トヨペット(株)　西村治三郎　尼崎市金楽寺一三　電話大阪㊽五九六番

評議員・校友会副会長　計理士・税理士　長柄金吾　大阪市北区鳴尾町一〇　電話㊺一〇二一・一三九八番

評議員・教授・経済学博士　森川太郎　吹田市千里山竹園町三　電話㊳三三〇六番

常務監事　矢野文雄　大阪市東淀川区淡路新町六九　電話㊲七一二七番

理事・教授・経済学博士　矢口孝次郎　吹田市千里山三七六　電話㊳三五八七番

評議員　保井金属株式会社代表取締役　保井剛一　西宮市北名次町五〇　電話西宮一二七九番

日本公証人連合会副会長　神戸公証人会長、評議員　山崎敬義　神戸市生田区多聞通一丁目二四ノ一、電話神戸④四六九番

評議員・教授　短期大学部長　河村宜介　京都府北区大将軍一条町三四　電話西陣一〇九六番

評議員・弁護士　越智比古市　芦屋市打出若宮町五五　電話芦屋五六二番

評議員・弁護士　大島武夫　大阪市北区宗是町一、中之島ビル　電話㊹一一〇〇番

評議員会副議長　弁理士　大月伸　宝塚市川面御殿山二三

校友会副会長　大石紙工業株式会社社長　大石雄一郎　大阪市北区西堀川町一〇　電話㊹二二四三番

評議員　医学博士　江里口春志　大阪市北区小松原町三　電話㊱二二八番

校友会長・弁護士　宇佐美正祐　大阪市東区今橋五丁目八　電話北浜㉘二九〇五番

評議員　弁護士　浦野健二郎　大阪府松原市池内町六一四　電話松原局三四一ノ甲

評議員　天美保育園理事長　下条小野右衛門　芦屋市山ノ手町一〇〇ノ一　電話芦屋三九二七番

顧問・弁護士　武田藏之助　芦屋市松浜町五七　電話芦屋二四五一番

評議員　大阪地方裁判所判事　竹沢喜代治　堺市中三国ケ丘町二ノ三四　電話堺一一六八番

評議員　国光復建株式会社取締役社長　小寺小市郎　豊中市吉野通一丁目七　電話・豊中三八七七番

評議員　大阪府会議員・弁理士　小林巖　大阪市都島区都島中通六ノ四五

評議員・校友会副会長　計理士・税理士　長柄金吾　大阪市北区鳴尾町一〇　電話㊺一〇二一・一三九八番

評議員・妙見宗管長　野間秀泉　大阪府能勢妙見山、本滝寺　電話地黄八・二八番

校友会常議員　公認会計士　畑下辰典　事務所・大阪市西淀川区佃町二ノ一〇〇・電話㊼二一九一番

専務理事　久井忠雄　神戸市東灘区本山町中野四三七　電話御影六四〇番

校友会副会長　大石紙工業株式会社社長　大石雄一郎　大阪市北区西堀川町一〇　電話㊹二二四三番

校友会監事　公認会計士　逢阪勝見　大阪駅前梅田ビル四〇七号室　電話㊱三〇〇九・二六一（ビル代表）

評議員・弁護士　越智比古市　芦屋市打出若宮町五五　電話芦屋五六二番

評議員・旭今市郵便局長　大森俊次　大阪市旭区今市町一ノ二六〇　電話城東㊸一三三〇番

ぜひほしい〝陳列館〟

末永研究室の考古学資料

関西大学の史学科は石浜、魚養、末永の諸教授の存在で一偉彩であるが、末永考古学研究室に蒐集されている資料は、わが関西では京都大学に次く巷大なもので貴重な資料が多い。

末永考古学研究室に集められた資料は主として日本の考古学、民族学に関するものが多く、毎日新聞社長であった故本山彦一氏のコレクションを一括して関大が譲渡を受けることになり、その大部分はすでに搬入されている。本山コレクションは日本に関するものが主であるが、朝鮮、満州、南洋方面のものもあって、浜寺の農業考古博物館「本山考古室」としてその収蔵品目録を昭和九年末永博士編集で公刊され、学界周知のものである。河内国府の遺跡で発掘した時の出土品縄文式土器や弥生式土器が多く、考古学界で問題になっている珍らしいものがあり、昨年三笠宮御来学の砌も参観されたその他英文学者元男辯神田孝平氏の集められた石器も学界で有名である。

これらの蒐集品は図書館三階の末永考古学研究室や、東洋文学研究室、また一部は大学ホールにも陳列されてあり、収容出来ぬものは円形図書館の階上や図書館三階の廊下の西側に並べ、或は積まれている状態で、これら貴重な資料を保管陳列する設備がないのは心ある人々から惜しまれている。

その後三年前から島根大学と共、河内三王山、摂津川西市加茂の弥生式遺跡の発掘による資料の整理は大へんなもので人手を要することが多い。廊下に荷作りのままの木箱は昨年秋久留米附近で九大と共同調査による資料が届いたことろでこれらの資料を陳列する設備を理事会に陳情中とのことである。

末永博士談　大学で十分管理保存することを考えてほしい。火気の心配のない不燃性の建物で陳列室の中間には防火壁の設備が必要だ。そして鋼鉄製の陳列棚と照明を考慮してほしい。資料の活用については別に研究したい。

考古学の資料は、千里山図書館三階の廊下の両側にまでも並べられ、また積み重ねられている。写真はその一部。

同調査による隠岐の島の出土品、その後三年前から島根大学と共、河内三王山、摂津川西市加茂の弥生遺跡の発掘による資料の整理は大へんなもので人手を要することが多い。廊下に荷作りのままの木箱は昨年秋久留米附近で九大と共同調査による資料が届いたことろでこれらの資料を陳列する設備を理事会に陳情中とのことである。

末永博士談　大学で十分管理保存することを考えてほしい。火気の心配のない不燃性の建物で陳列室の中間には防火壁の設備が必要だ。そして鋼鉄製の陳列棚と照明を考慮してほしい。資料の活用については別に研究したい。

生駒山上に〝教育文化放送〟

〝超短波放送〟の申請を提出

関西における私大が相提携して超短波放送によって学校教育の足らざる点を補い、教育の機会均等と文化水準の向上を目的とする〝関西教育文化放送〟の設立を関大が主となり企画していたが、一月八日設立申請書を郵政省に提出した。

発起人代表は日本私立大学連盟大、甲南、大阪商大、武庫川学院吉区千体町三九ノ二に設ける。周神戸女学院など関西の私学が連記し、資本金七千万円、送信所は枚方五〇キロワット。聴取区域は大阪全域と京都、奈良、滋賀、和歌山、兵庫、三重、福井、徳島県について〝教育文化放送〟を企図した中波、短波による放送は飽和状態であるし、超短波FM放送によると雑音、混信がなく、音質がよい。アメリカではFM放送が発達して教育放送の面にも相当進出して一般商業放送の番組改善に大きな影響を及ぼし、文化水準の向上と、学生児童に与える無形の教育効果がおどろくべき実績を挙げている。早急に実現されねばならない。

波数六五から九〇メガサイクル、出力五〇キロワット。聴取区域は大阪全域と京都、奈良、滋賀、和歌山、兵庫、三重、福井、徳島県一部となっている。創立事務所は大阪市南区鰻谷仲之町十九番地においている。

板橋発起人代表談　戦後道義の頽廃と教養水準の低下は憂うべきものがあるが乱立した一般商業放送が時流に迎合した一斑の責もあろう。このような社会の風潮を是正し国民全般の教養を高めるために電波によるマス・コミの効果は大なることを認め

常議員20名・監事3名決る

校友会の陣容強化

昨年十二月八日の校友総会で、会則改正による常議員の定数を五十名に、また新に監事を三名おくことになったが、会則改正に基づく二十名と、監事の人選は五部長（総務、組織、財務、事業、広報）に一任されていたので、五部長は数次の会合を重ねて銓衡の基準を立て、卒業年度、出身部科別、職域、地域を勘案して厳正、公平な人選を決定し十二月二十六日の常議員会にも発表し、それぞれ依嘱状を発送した。

その決定による部科別氏名は

▽大学院（1）宮田輝穂（昭27院法）

▽旧制学部（3）北原元茂（昭4大法）向井裕亮（昭10大法）多賀谷宏（昭18大法）

▽新制学部一部（3）篠原昭三（昭25学一政）東浦栄一（昭26学一商）坂本幸夫（昭28学一経）

▽新制学部二部（2）千歳克郎（昭26学一経）畑下辰典（昭27学一経）

▽専門部（3）石丸憲（大9専商）村上精三（昭5専経）林信夫（昭7専英）

▽専門部一部（4）坂本寛夫（昭14専一商）

▽専門部二部（3）平沢農三（昭13専二経）鮎江城夫（昭13専二商）奥村孝（昭25専二法）

▽工業専門学校（1）沢村宗平（昭22工専）

▽大学部（1）大森俊次（昭28短大一）

▽高等部（1）塚田正則（昭25高一）

▽高等部（1）岩城富子（昭25高二）

新設の監事には**下条小野右衛門**（明43専法）**鎌田嘉之**（昭7大法）**蓬阪勝見**（昭11大商）の三氏が選任された。

なお新任常議員の会務分掌、並に欠員副会長一名の人選は新任者を加えた来る一月二十一日の第7回常議員会で決定することになっている。

横山氏ら三氏

校友に推薦

去る十二月二十五日の理事会で、横山栄吉氏ら三氏は、学校法人関西大学寄附行為第三十六条の規程に基づいて校友に推薦された。

▽**横山栄吉氏**　明治廿八年五月七日生、大正二年専門部予科入学、大正四年予科修了、大阪府会議員、株式会社横山製ペン所取締役会長、大正商店会連合会顧問、大阪府事業税審議委員会委員、大阪市土地区画整理組合審議会委員、保護司、大正地区副委員長、西納税貯蓄組合連合会副会長（住所、大阪市大正区泉尾北村町一ノ二五）

▽**橋上義雄氏**　明治卅八年五月一日生、大正十年専門部予科入学、大正十一年退学、大阪府会議員、河内長野市千代田農業協同組合長、大阪府中小企業信用保証協会理事、前長野町長（住所、河内長野市向野町一一四）

▽**筒井密義氏**　明治四十年三月二日生、昭和十二年専門部入学、昭和十三年退学、株式会社尾道倉庫運輸取締役、向島西造船株式会社取締役、日本医療器株式会社長、広島県教育委員、日本PTA全国協議会副会長、広島県PTA連合会顧問（住所、広島県御調郡向島町五八三八ノ二）

東西学術研究所長に

石濱純太郎教授

去る十二月二十五日の理事会で文学部教授石浜純太郎氏は東西学術研究所長に任命された。

東西学術研究所は昭和二十六年岡野学長の時、文学部と東洋文学科が新設されたと同時に設立されたもので東洋学の研究が主目的で所員として石浜、亀井、三上、末永、鋳方教授等で発足し、一方冊に上る藤沢文庫（徂徠学の泊園書院蔵書）の寄贈を受けて、その整理に着手し、目録第一冊は既に印刷に附するまでになっているが、その後東京裁判の記録三十六箱を弁護士岡本尚一氏から寄贈を受けこれが研究整理の任もあり、法学部の川上敬逸教授も加わった。また名実共に東西学術研究所たらしめるために英文学の堀正人教授も参加して東西文学の比較研究も研究所の主たる目的としている。

研究所は千里山図書館三階の東洋文学研究室においているが、石浜教授は〝いま岩崎学長や亀井文学部長、堀教授たちと、今後の構想や、研究について話し合っているところです〟と語っている。

石浜教授

長壽を祝う

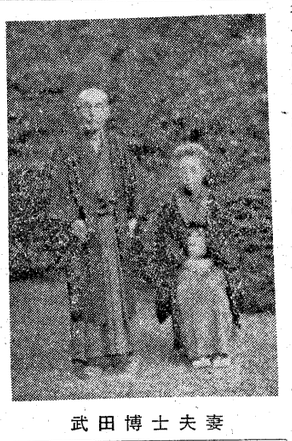
才一回卒業生

九十才の内田翁、米寿の武田博士

明治二十二年本学の前身関西法律学校第一回卒業生は十七名であったが、内田重成翁は明治元年生で本年九十才、下関市清末町の山荘で読書と酒、友あらば碁を囲んでかくしゃくとして悠々閑日月を送っておられる。武田宣英博士は明治三年生で、本年が八十八才米寿を迎えられ、熱海湯河原の山荘で老夫人と共にそれぞれお元気で新年を迎えられたことは喜ばしい限りである。

△**内田重成翁略歴**　山口県生、明治二十二年関西法律学校第一回卒業、海軍法務局長、高等軍法会議長官、判事、検事、兵学校教官、捕獲審検所検察官、貴族院議員たること十九年、山口県教育会長、青年団長、婦人会長、各種会社社長など歴任かがやかしい活躍をされた。

△**武田宣英博士略歴**　岡山県生、明治二十二年関西法律学校第一回卒業、弁護士、法学博士、大正八年以後本学協議員、昭和四年から二十二年まで本学理事監事、二十二年から二十七年まで顧問、昭和三十一年八月顧問となり現在に至る。



武田博士夫妻

内田先生

寄附行為第三十六条

この法人の設置する学校又はその前身である法人の設置した学校若くは関西法律学校を卒業した者は、これを校友とする。

②前項の学校にかつて在学し、又は職員であった者は、理事会において、これを校友に推薦することができる。

社會史・文化史として

『關大七十年史』

四月には刊行

七十年史の編さんは、昭和二十八年八月関西大学創立七十周年史編さん委員会（委員長岩崎卯一教授）で企画を立て、専ら文学部横田健一教授が執筆担当者として、委員会で資料の蒐集にあたり、初期の卒業生を訪ねては東京、下関、福岡その他の各地を巡歩し、故人の断簡零墨を博捜したのであるが、その後しばしば委員会を開いて資料を検討し、創立前後の事情は現在として出来る限りの手を尽した。

○○頁、別に写真版二五〇頁の予定で、四月には刊行となる見込みである。実費頒価一〇〇〇円、大阪市大淀区長柄中通二、関西大学出版課で予約を受付けている。

日大を倒して自信満々

東西大学ラクビー対抗戦を顧みて

年末年始恒例の東西大学対抗ラクビーは好試合と明大退場事件など当日の関大の斗志は関西随一と称ど多くの話題を残して幕を閉じすられ、その健斗は今尚称讃の声ちながらFBのミスを衝かれ敗れたが。例年関西側の一勝から勝に終やまぬところである。今シーズンの関西における大学対抗戦を顧み実した試合をみせた。また立命と

年側の優勝者早山を初め、三年藤谷、二年丸山、新人内海が如何に戦地帯であるが、一、二、三、四位の確保に全力を傾注するだろう。継走は長距離と共に九連勝中のものであり、本学得意中の得意種目で

校友会事業基金

寄託者芳名（3）

校友会事業の運営を積極的に推進するために校友各位から篤志寄附を寄せられ誠に感謝に堪えません。茲に芳名を録し謝意を表します。

鎌田嘉之
竹下百馬
鮫江城夫
千巌克郎
今井憲夫
土谷正喜代
寺田伴嗣
金壱千円ずつ（第一回）木藤安之、鈴木武夫、多賀谷宏、伊達重雄、福田順一、藤田令允、松井良雄、向井裕亮（小計金五万六千円、累計金九拾五万九千円也）

大阪市・日本橋一交叉点
鎌田特許
弁理士 法学士 鎌田嘉之
電話代表(64)〔二一〇番・二二番・三〇番・二一〇〇番〕〔二一〇番・二〇〇〇番〕
自宅 阿倍野区相生通二ノ九六
電話 天下茶屋(66)二一一番・二二番

織物用・電線用・撚糸製造
谷口撚糸株式会社
代表取締役社長 谷口奈良男
大阪市住吉区帝塚山西五丁目三四
電話住吉(67)五七五七

エレベーター コンベヤー 索道
富士輸送機工業株式会社
本社 大阪市西区靱上通1の1
東京 札幌 仙台 名古屋 京都 神戸 広島 福岡

日本ファイリング株式会社
本邦唯一の書架専門メーカー
特許田島式銅板製書架
関西大学千里山図書館積層式3層書架責任施工、京都大学、九州大学、北海道大学、早稲田大学、一橋大学、明治大学、神奈川県立図書館、其の他各大学並に府立図書館に納入好評を受けて居ります
大阪出張所 守谷義一
大阪市東区淡路町四丁目四八
TEL(23)7059・7019
本社 東京都丸ノ内、丸ビル No.4443
LEL(20)4184～6、2017

質は山下
東淀川区国次町（阪急淡路駅西出口南一丁）
電話豊崎(37)6414番
（昭和八年卒　山下邦宣）

単車専門・卸・小売
陸運局認定整備工場
オートバイ無料相談
最も適した車種をお選び下さい。年令・体格・用途・お好み等
一流メーカー品なら何でも……
キャブトン・陸王・メグロ・DSK・ドリウム・ヤマハ・ライラツク・クルーザー・ポインター・みづほ・ベンリー・トーハツ・ラビツト等
（同窓諸兄には特別価格にて御相談に応じます）
キャブトン 大阪・上四
キャブトン販売株式会社
代表取締役 千巌克郎（関大評議員・校友会常議員）
大阪市南区上本町四丁目電停前 TEL(77)7129 7224～5

謹賀新年
関西大学指定商人会
西村食堂　酒井時計店
佐伯食堂　仲西理髪店
長谷屋洋服店　古川理髪店
青山書店　歌舞伎寿司
山本靴店　キユピー洋服店
田中洗濯店　酒井万年筆店
オーム社書店　松井徽章店
渡辺文房具店　田中洋服・靴店
丸美屋食堂　石丸写真店
佐々木写真店　西田洗濯店
平井洋服店
（順不同）

すぐ建つ家の月賦
即時着工の新方式
自由選択式　お好きな時に　お好きな額で　家の建つ日も　御希望通り
全国各営業所
帯広営業所　帯広市西二条南11野村ビル　電話・帯広1575・1576
旭川営業所　旭川市六条8丁目左1号　電話旭川879
札幌営業所　札幌市札幌市立病院新館前　電話札幌(2)7021
盛岡営業所　盛岡市六日町116　電話盛岡3577
仙台営業所　仙台市東四番丁33　電話仙台(2)8060・2050
郡山営業所　郡山市堤下21　電話郡山0787
新潟営業所　新潟市本町通八番丁1357　電話新潟(2)8773
松本営業所　松本市土井尻町56　電話松本1331
群馬営業所　前橋市榎町37銀座通り北側　電話前橋4828
東京営業所　中央区日本橋本町3電停前　電話茅場町(66)9716—9
横浜営業所　横浜市西区高島町1ノ15　電話神奈川(4)3178
静岡営業所　静岡市鷹匠町1ノ21　電話静岡(2)4524
金沢営業所　金沢市尾張町23　電話金沢(2)0985
岐阜営業所　岐阜市徹明通5ノ3千手停西　電話岐阜(2)8275
名古屋営業所　名古屋市中区新栄町交叉点東　電話(9)3015～6・2087
津営業所　津市大門通地頭領町津624　電話津5833
京都営業所　京都四条大宮電停西1丁北　電話壬生(84)3484
大阪営業所　地下鉄心斎橋下車三休橋南詰　電話(27)0491～0494
和歌山営業所　和歌山市杉ノ馬場2ノ3　電話和歌山6086
神戸営業所　神戸市阪神電鉄魚崎電停前　電話御影(8)3102・4777
米子営業所　米子市角磐町39　電話米子2270
岡山営業所　岡山市上西川町208駅前通　電話岡山(3)4792～4
広島営業所　広島市八丁堀56八丁堀ビル　電話中(2)1877
高松営業所　高松市新瓦町琴電瓦町駅前　電話高松4894
松山営業所　松山市千舟町61　電話松山2569
小倉営業所　小倉市米町井筒屋百貨店前　電話小倉(5)2777
福岡営業所　福岡市市電大名町電停北側　電話中(4)6318
長崎営業所　長崎市平興善町28　電話長崎3429
熊本営業所　熊本市辛島町87　電話熊本6612
鹿児島営業所　鹿児島市市電柿本寺電停前　電話鹿児島4815
定額式
毎月僅か　千円より
公庫住宅の申込及請負・一般現金建築の請負
営業案内無代進呈
最寄りの営業所へ
日祝無休・来社歓迎
授權資本貳拾億円
太平住宅
本社
東京都中央区日本橋本町三丁目電停前
電話茅場町(66)9716～9・夜9710

海外通信

欧米の学界視察のため海外視察研究員として十二月四日羽田発渡米、ハーバード大学ヤコブソン教授を訪ね、三ケ月後スエーデンのカルルグレン氏やウプサラ大学アンケリア教授を訪ずれる予定であるが、このほど編集部あてにつぎのような短信が送られてきた。

×

一月五日夜ボストン在留日本人会に客人として出席、はしなくも我が校の松原君に三ケ月振りで会い愉快に話しました。相変らずニューヨークの酒場を荒し廻っているらしく、ゆうべも一時迄ねばって「もう時間だから」と追い出されましたとのこと。私の方にはこんな面白い報告の種がありませんが、せまい見分を一つ二つ。

ボストンも殊にこのハーバード地区は、大学町で、一般に言葉も英語に近く（米国なまりが少く）ものごしもおだやかで上品です。一寸道ですれ合っても、一々「エクスキューズ・ミイ」と人をおいてゆくときも必ずそう云います。自動式のドアですくあとからだれかがくるとみると必ずあけたまゝおさえていてくれます。日本人だから、差別視すると云うことは絶対になく、黒人に対しても同様です。その点大層気持がよろしい。

呑気な米人

旅行案内やその他でさんざんエチケットの勉強をして来たのですが、極めて呑気な人たちで驚くことがあります。フィラデルフィアの宿屋で便所へ行くにも、ちゃんと上衣をつけて行く様にしていたのですが、ある部屋をのぞくと下は開けっぱなし、二人の丸々と肥った毛むくじゃらの男が、上半身はだかのままでテレヴィを見ていたのにはほほえまされました。電車、バスが遠い旅行で延着するのはむしろ普通で、フィアデルフィアからボストン迄ニューヨークを経てかえる時のバスは二時間おくれました。延着のため乗りつぎが出来なくても会社は責任を負わぬと切符に明記してあります。汽車等十五分位早く出発したりする相です。道をきいても知らぬ人が多く、いつかも住宅街で日が暮れて腹はへるし食堂もなし、グローサリズと書いた店で果物やビスケットを買い、宿の番地を見せたがだれも知らぬ。むかいの支那人の洗濯屋で聞いて覗と云うことが又輪をかけた様な呑気な男、住所を書いた紙片を反対に見ているのでこれも駄目とあきらめ、外へ出ると小学校の子供がいるので聞いて見ると、一々指をおりつつ町の名を言って、ここから六つ目の筋を右へ入りなさいと明瞭正確に教えてくれた。どうも子供の方が大分たしかな様だ。大人は五六丁先の町名すら知らないのだ。町の角々にインフォーメイション（万ず案内）と云うボックスがあるが人の居ないことも多く、居ても何も知らぬ相である。そう云えば一見して外人と分る者の私に道を聞く人がずいぶんあるのに驚く。一般の人は朝は十時頃からごそごそ働く。夜は十二時迄起きている人が多い。芝居、映画も大底十二時迄。しかし銀行の様な所は朝八時から午後二時迄、事務のテキパキとはしぶることは気持のいい程です。

一月七日　マサチューセツ州ケンブリッジにて　高橋盛孝

この間も尼崎市の足立一郎君が編集部に見えられて（催し）会）万葉学会や史学会で開催される講演会など同好者に通知してもらえないものだろうか、日々のこと、どの学会でも新聞社社会部「会と催」の係に連絡をとって下さることを希望します。

あれから十年 (1)

―新制教育制度の反省と將來―
語学時間は舊制の1/5

横田教授

横田健一

戦後間もなく占領軍（およびアメリカ教育使節団）の勧告により わが国の教育制度は全面的に改革せられ、一九四七年（昭和二十二年）四月より六三制が施行された本年三月でちょうど満十年になる本学においても新制第一中学校がこの時に発足し、大学は翌四八年に新制大学に転換し足かけ十年となる。戦後数年間はあらゆる教材も不足であったし、学徒もまた勤労動員や学徒出陣ないし学童疎開等のため学力が低下していたが、新制教育の欠陥のために学力が低下したかのごとく思われたこともすくなかった。

今や時代も殆んど常態に復し十年をへた今日においては新制教育を反省し、その長所短所を論ずることも可能であろう。本紙上をかりて数回にわたり私見をのべ識者の御教示をえたいとおもう。私の目ざすところは新制の欠陥をいたずらに指摘することではない。いかなる教育制度も時代の進歩とともに、それに適合するように変革されねばならない。十年前の新制も今日においてはもはや新制とはいい得ない。むしろ六三制というべきだろう。そして新たな時代に即応するよりよき制度が求められ それへ改善されねばならぬ。

現代の人類文明の進歩はまさに日進月歩であり、知識はいよいよ深度を深め、範囲を広げ、微に入り細をうがつようになってきている。

新制教育制度の反省と将来

戦後数年間はあらゆる教材も不足であったし、学徒もまた勤労動員や学徒出陣ないし学童疎開等のため学力が低下していたが、新制教育の欠陥のために学力が低下したかのごとく思われたこともすくなかった。

今や時代も殆んど常態に復し十年をへた今日においては新制教育を反省し、その長所短所を論ずることも可能であろう。本紙上をかりて数回にわたり私見をのべ識者の御教示をえたいとおもう。私の目ざすところは新制の欠陥をいたずらに指摘することではない。いかなる教育制度も時代の進歩とともに、それに適合するように変革されねばならない。十年前の新制も今日においてはもはや新制とはいい得ない。むしろ六三制というべきだろう。そして新たな時代に即応するよりよき制度が求められ それへ改善されねばならぬ。

現代の人類文明の進歩はまさに日進月歩であり、知識はいよいよ深度を深め、範囲を広げ、微に入り細をうがつようになってきている。

制高校においては文科を とってみると文科甲類（英語を第一外国語とするもの）では、三カ年間に第三倍を実際はやるはずなのであるが、しかしこれはいうはやすくして実際はどうであるか。しかし旧制高校の生徒が外国語を教室以外で勉強しなかったかというと、そうではなく、毎日の勉強時間の大部分を外国語にあてていたのである。高校二年ともなれば将来大学でその目ざす学部の専門外図書を丸善あたりで買ったり外国からとりよせて皆よんでいたのである。

それでは新制の学生はどうか。新制教育の特色は旧制にくらべ なくとるべき単位が少ないことになっているから、自習をその二倍の時間にあてるべきことになっているから、結局学校へ出る時間が少ないからだが、自習をする時間が非常に多く、従ってこの自習時間を自発的にフルに利用する学生は旧制の学生と劣らぬ学力を身につけている反面、新制中学の外国語が旧制中学に比して時間の少いことである。また新制は必修になっていないことである。―つづく―（文学部教授）

皇居で新年の歌会始め
"入選"の唐川次夫君

唐川君

新春恒例の宮中歌会始は十一日午前、三笠宮妃殿下様が御出席、傍聴者を新制大学の一年、二年の十六時間を加えても合計二十一時間、単位に直して八十四単位になって

五時間をとって新制高校の三年五時間を加えて新制高校の三年五時間をとって新制高校の三年五時間をとって新制高校の三年五時間をとって